

令和5年度 第2回 宗像市文化財保護審議会

(議事録要旨)

期日：令和6年3月26日(火)

時間：13時30分から

会場：海の道むなかた館 講義室

出席者			事務局		
会 長	西谷	正	課 長	白木	英敏
委 員	伊崎	俊秋	係 長	山田	広幸
委 員	國生	知子	技 師	豊崎	晃史
委 員	竹川	克幸	技 師	太田	智
委 員	田中	久美子			
委 員	宮元	香織			

次 第

1. 開会あいさつ

2. 回議事録の確認 【事前配布資料2】

3. 会長・副会長の選任

会長 西谷正

4. 議事録の作成方法について【当日配布資料1】

要点を記録する形で議事録を作成する方法。

5. 議事

[報告]

1) 令和5年度文化財保護事業について【事前配布資料3】

○委員

文化財の活用の事業の中で、いせきんぐ宗像(田熊石畑遺跡歴史公園)で東郷小学校の運動会を開催したとあるが、どのように連携して実施しているのか。

○事務局

経緯について、東郷小学校から運動場が狭く、学校外での開催を検討しており、いせきんぐ宗像で開催可能かと問合せがあった。市で検討を行い、歴史公園への子ども達の愛着醸成にもつながるきっかけになればということで、令和4年度から実施するようになった。今年度も10月に実施を予定している。

○委員

太宰府市などでもグラウンド問題があるため参考になった。支障や課題はないか。

○事務局

若干の起伏があるため、平坦な箇所を利用してもらっている。

テントなどの仮設設置物なども遺跡の保護層が十分確保できる地点を選び対応している。

○委員

日伊文化交流作品展についてどのようなものか。

○事務局

両国の作品展示を通じ文化交流の場としている。福岡教育大学との連携事業で実施している。大学の美術の先生に協力いただき、年間の体験学習でも協力いただいている。

○委員

宗像大社を見学したところ、中国からの観光客が多く驚いた。実際インバウンドの方はこの 11 万人の中にどの程度含まれるのか。

○事務局

海の道むなかた館は団体で来館することは少なく、個人旅行の方が来館する印象がある。

○委員

周辺の状態を見る限り、神宝館に行っていない印象を受けた。来訪者をうまく誘導できれば宗像大社の文化財を海外の方に知っていただけるいい機会になると思う。

また、海の道むなかた館のロビーには様々なガイダンスがあり、その中には鏡や指輪などの沖ノ島祭祀遺跡出土品のレプリカや再現文化財がある。それらには「再現」という文字が入っていなかった。海外の方にアピールするにはそこが正確でないといけない。記載がなければ検討していただきたい。

○事務局

確認のうえ、ご指摘のとおり混同しない表記を検討します。

○委員

展示に関して、子ども向けの展示は概ね網羅しているかと思うが、常設展示も含めもう少し工夫が欲しい。

○事務局

常設展示は開館から 11 年が経過しているが、それ以来、変更していない状況があり、展示の課題と認識している。また、今年度で 10 年間の市史編さん事業が完了し、埋蔵文化財に限らず、地域の新しい歴史が明らかになった。今後、観光客だけではなく地域住民の郷土学習の場にもなるような展示への変更を検討したい。

2) 令和 6 年度文化財保護事業（予定）について【当日配布資料 2】

○委員

池田桜古墳の調査の具体的な計画が知りたい。

むなかた古代フェスの開催時期が年度で違うのは他のイベントとの兼ね合いがあるためか。

○事務局

池田桜古墳は、円墳もしくは、前方後円墳と想定している。

令和 6 年度は規模と墳形を確定するために範囲確認調査を行う。前方後円墳であった場合、令和 7 年度も調査を継続する予定である。

○事務局

むなかた古代フェスは、例年、地域と協議し開催時期を決めている。令和4年度は11月、令和3年度は7月にそれぞれ開催した。また、令和7年度は開園10周年となる。夏（6月）の開催を検討している。

○委員

むなかた歴史クラブについて、宗像市の養鶏は、たまごと食肉があると思うが、どういったところを調査対象としているのか。

○事務局

「鶏すき」が生まれ歴史的な背景などについて、福岡県統計書から宗像の明治から戦前までの養鶏の特徴を読み解き、鶏すきについて考察しようとしている。成果は、九州国立博物館で開催される全国高等学校歴史学フォーラムで発表したい。

○委員

自身の研究分野であり、食文化もテーマの一環であれば意見交換したい。

○委員

出光佐三展、加耶古墳群の公開講座の開催時期について。

○事務局

出光佐三展は、10月を予定している。10月はみあれ祭などの催事があって来館者数も多いことが見込まれる。加耶古墳群の公開講座は12月を予定している。世界遺産保存活用協議会が中心となり準備を進めている。

○委員

世界遺産の保存管理に関する事業について、モニタリングはどのようなものか。

○事務局

辺津宮、中津宮は年1回、台帳に基づき工作物等の変化の有無を確認している。沖ノ島は、月に1回程度、職員が沖ノ島へ向かい、遊漁船や釣り人、海の状況等を確認し、また、上陸により遺物の確認調査を実施している。

○会長

世界遺産関係では、公開講座を楽しみにしている。この取り組みを通じ、宗像の世界遺産が韓国でも共有され、博物館同士のさらなる友好関係を結び、密接な関係が構築されることを期待している。

〔審議〕

1) 宗像市文化財保護事業補助金について【事前配布資料4】

○会長

文化財保護法の改正に伴い、未指定文化財にも支援していこうという考えは画期的な政策といえる。

○委員

方針案を7項目掲げてあるが、方針案の項目ごとに補助要綱を改正していく考えか。未指定文化財の支援については令和6年度予算の中にすでに含まれているのか。

令和5年度と比べ6年度予算は減額しているが主な要因は何か。

○事務局

それぞれの方針を包括した補助要綱にしたいと考えている。

令和6年度予算は概ね指定文化財の国庫、県費追加補助である。未指定文化財への支援として初年度は若干計上しており、予算の範囲内で支援したい。減額の要因は補助事業の予算規模の都合である。

○委員

今後も国庫や県費補助金の継ぎ足し補助は実態に応じて予算要求を行い、未指定文化財に対する補助は一定枠を確保する方針でよろしいか。

○事務局

そのとおり。

○委員

文化財の活用に関する主な事業として、遺跡公園の活用が記載されているが、遺跡公園の保存活用だけでは成果が難しいと思うがその点ほどのように考えているか。

○事務局

遺跡公園だけでなく、無形民俗文化財関係の保存活用に対しても注力したいと考えている。また、民間企業と連携した活動やイベント実演を計画中で、成果が見えるよう実施していきたい。

○委員

行政の補助金が減らされている状況ではあるが、民間の支援団体等を活用することはいいと思う。地域からは具体的な要望はあるか。

○事務局

拝殿の床が抜けてお祭りができない。階段に手すりを付けたい等がある。

○委員

所管の異なる文化財関係の補助金を一本化することについて、煩雑にならないやり方だと思う。今回1本化することによって、認められなくなるものはあるのか。

○事務局

まずは要綱をそのままスライドさせ、今後も議論を重ね実情に合った内容にしたい。

○委員

使いやすい補助要綱にしてほしい。未指定文化財も加わるのであれば慎重に議論しないとけない。

○委員

補助対象について、具体的に一度整理してはどうか。

○事務局

事務局側で再度検討する。

○委員

審議会の役割は事務局案に対する審議なのか。

○事務局

審議いただき、意見頂くものである。

今回の意見を踏まえ一度整理したい。整った段階で次の議論へ進んでいきたい。

6. その他